

特別支援学校 就労支援セミナー

7月16日（木）

富山労働局主催の特別支援学校就労支援セミナーを本校で開催しました。

就労希望の高等部1・2年生の生徒14名と本校保護者2名、教員8名が参加しました。

富山労働局職業対策課 就職支援コーディネーター 端 久美 氏から、「地域における障害者雇用の現状」として、障害別の就職状況や主たる就労支援機関の紹介など多岐にわたる内容の話をしていただきました。

富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー 田中 康平 氏からは、障害者就労・生活支援センターが、就労や生活の相談に各関係機関と連携して支援に当たっていることや、「働くために必要なこと」などについて話をしていただきました。その中で生活習慣、身だしなみ、明るく元気なあいさつなどの就労レディネスの土台が大切であり、土台がしっかりしていないと、就労のピラミッドも崩れることを話されました。

障害者就労アドバイザーである小林製薬チャレンジド株式会社 代表取締役社長 濱井 功 氏からは、「在学中に身に付けたい力について」というテーマで話をしていただきました。「働く意欲」を支えるために、「基本的な生活習慣」や「健康管理」「マナー」を身に付けることが大切であること、家庭の中で役割をもち、できることを増やしていくなど、多くのことを教えていただきました。

参加した生徒からは、「仕事に就くには生活習慣を整えることが大事だと思います。」「アクシデント、イレギュラーな事態が起きた時、深呼吸をして心を落ち着かせ周りの人に説明をするということを聞いて良かった。」「自分の身に付けるべき力を考えることができた。」などの感想が聞かれました。参加した生徒や保護者、教員にとって大変有意義なセミナーとなりました。